旅館ホテル・施設・団体

KCP通常総会

堀会長を再任

「共生・共創」で旅の新たな形構築へ

会場の様子

堀会長

米田社長

KNT―CTパートナーズ会（KCP、3547会員）は2日、第4回通常総会を東京都港区のシェラトン都ホテル東京で開いた。2023、24年度の会長として堀泰則会長を再任するほか、21年度の事業、収支決算の報告、22年度の事業計画、収支予算の承認を行った。堀会長は「共生・共創」をテーマに掲げ、ウィズ・アフターコロナの中からの反転攻勢として「新しい旅を模索し、旅のニュースタイルを築く」と抱負を述べた。

総会の冒頭、堀会長は、五つの委員会（Web、未来創造プロジェクト、教育、インバウンド）を軸にKNT―CTホールディングス（HD）と一体となった支部活動、連合会活動など事業運営の展開を行う方針を示し、「会社と共に事業に投資をし、共生していく。そして、旅を通じて共創、共生していく」と強調した。

会社からはKNT―CTHDの米田昭正社長をはじめ、近畿日本ツーリストの高浦雅彦社長、近畿日本ツーリストコーポレートビジネスの高川雄二社長、クラブツーリズムの酒井博社長が出席。

米田社長は「新時代の旅行業は、地方創生が鍵となる。日本は世界から一番行きたいデスティネーションと言われ、四季、食、安全などポテンシャルは高い。観光に携わる者が世界一のポテンシャルを秘める日本を売らなければならない」と話した。また、内部への投資として、コロナ禍で現場に行けなかった若手社員を全国各地のKCP会員の元に派遣して教育する現場教育への協力を求めた。

高浦社長は、教育旅行需要の回復を強調。22年度の注力分野として、①教育旅行②公務受託事業③自治体連携でのアフターワクチン事業の実施④訪日事業の獲得⑤スポーツ事業―を挙げた。また、旅行事業の拡大に向けて、「ウェブ比率は拡大傾向にあり、時代に合った事業展開を進めていく。新たな取り組みとして進む、ハイクラスサイト『Blue Planet』、アバターコンシェルジュ、異業種との販路拡大も堅調だ」と話した。

高川社長は、需要が高まるMICE、訪日事業への注力を表明。「ストップしていた訪日旅行の再開に向け、インバウンド受け入れ事業に参画するなど、準備を着々と進めている。また、訪日外国人向けサービス事業の拠点『DMC Japan』などでもPRを展開している。自治体やDMOなど地域とも連携しながら、需要獲得に努めていく」と述べた。

酒井社長は、事業の多角化による反転攻勢策を説明。「コロナ禍で安全安心のツアーを運営し、第2四半期の国内旅行は18年度比で80％まで回復してきた。今年はSDGs元年として健康増進など社会課題の解決に取り組んでいく」と堅調に推移していることをアピールした。旅行事業以外では、新たなライフスタイルを提案する「新・クラブ1000事業」や、旅行企画のノウハウ、人材を使い地域の観光資源を生かす地域共創事業などを紹介した。

21年度の事業報告では、情報連絡員活動のほか、ウェブや仕入れ、インバウンド戦略、旅ナカやSDGs商品の開発、商談会の開催、社員研修などについて話し合われたことが報告された。女性文化講座、全国交流事業は開催が延期された。

22年度の事業では、宿泊券、船車券、観光券の積極増売に注力。各連合会、支部の情報連絡委員活動を活発化するほか、教育旅行、ウェブ商品、着型商品への開発協力・支援、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズムとの共同イベントの創出、行政と官民一体となった協力体制の構築などに取り組む。

23年度の通常総会は、来年5月30日に開催される予定。

【長木利通】

かんぽの宿をリブランド

7月から「亀の井ホテル」へ

マイステイズ・ホテル・グループ

マイステイズ・ホテル・グループは2日、日本郵政から引き継ぎ、4月5日から運営を開始した「かんぽの宿」全30軒を、7月1日に「亀の井ホテル」にリブランドすると発表した。

同社は宿泊特化型のホテルマイステイズのほか、フルサービスのアートホテル、リゾートホテル、温泉旅館など140棟、約2万室を管理運営。かんぽの宿が加わったことで、温泉を有する宿泊施設の運営数は55施設となった。

2日、東京都内で開いた会見にはマイステイズ・ホテル・マネジメントの山本俊祐会長＝**写真中央**＝、代田量一社長＝**写真右**＝、小川淳執行役員＝**写真左**＝の3氏が出席。リブランドの理由について「『かんぽの宿』の名称には強いブランド力がある半面、会員向け宿泊施設というイメージがつきまとい、OTA等での予約販売でマイナスに作用する可能性があった」と説明した。その上で、別府亀の井ホテルの運営を2015年開始し、亀の井ホテル奥日光湯元を4月28日に開業していることから「別府観光の父である油屋熊八が1924年に開業した『亀の井ホテル』の『旅人をねんごろにせよ（旅人を心をこめておもてなしせよ）』のDNAを引き継ぎ、地域に根ざす各施設を進化させていきたいという思いで、その宿名を新しいブランド名に頂いた」と語った。

約30万人いるかんぽの宿の既存会員に対しては、従来と同じ条件の提供を継続する。

マイステイズ・ホテル・マネジメントの親会社は、ソフトバンク系の米投資ファンド、フォートレス・インベストメント・グループ。同ファンドは全国約170カ所のゴルフ場を運営するアコーディア・ゴルフ・グループも所有している。今秋をめどに、同ゴルフグループの会員約400万人とかんぽの宿の会員を含むマイステイズ・ホテル・グループの全会員を統合した新しい会員システムを構築する。亀の井ホテル全32施設（全てが温泉付き施設）の新施設名と現施設名は次の通り。

亀の井ホテル一関（かんぽの宿一関）、亀の井ホテル大洗（かんぽの宿大洗）、亀の井ホテル潮来（かんぽの宿潮来）、亀の井ホテル塩原（かんぽの宿塩原）、亀の井ホテル喜連川（かんぽの宿栃木喜連川）、亀の井ホテル奥日光湯元（同）、亀の井ホテル長瀞寄居（かんぽの宿寄居）、亀の井ホテル九十九里（かんぽの宿旭）、亀の井ホテル鴨川（かんぽの宿鴨川）、亀の井ホテル青梅（かんぽの宿青梅）、亀の井ホテル福井（かんぽの宿福井）、亀の井ホテル熱海（かんぽの宿熱海本館）、亀の井ホテル熱海別館（かんぽの宿熱海別館）、亀の井ホテル焼津（かんぽの宿焼津）、亀の井ホテル伊豆高原（JPリゾート伊豆高原）、亀の井ホテル知多美浜（かんぽの宿知多美浜）、亀の井ホテル鳥羽（かんぽの宿鳥羽）、亀の井ホテル彦根（かんぽの宿彦根）、亀の井ホテル富田林（かんぽの宿富田林）、亀の井ホテル大和平群（かんぽの宿大和平群）、亀の井ホテル奈良（かんぽの宿奈良）、亀の井ホテル紀伊田辺（かんぽの宿紀伊田辺）、亀の井ホテル有馬（かんぽの宿有馬）、亀の井ホテル赤穂（かんぽの宿赤穂）、亀の井ホテル淡路島（かんぽの宿淡路島）、亀の井ホテルせとうち光（かんぽの宿光）、亀の井ホテル観音寺（かんぽの宿観音寺）、亀の井ホテル高知（かんぽの宿伊野）、亀の井ホテル玄界灘（かんぽの宿北九州）、亀の井ホテル柳川（かんぽの宿柳川）、亀の井ホテル阿蘇（かんぽの宿阿蘇）、亀の井ホテル別府（別府亀の井ホテル）。

お断り　「人に優しい地域づくりをめざして」は休みました。

一寸先は旅人街宿

神崎公一

-2-

旅先の素敵な話、嫌な客

数年前、北信濃の温泉宿に泊まった。十人ほどの仲間との旅行だったので、夜は宴会となり深酒をした。翌朝、食欲がない連中もいた。朝食も終わりに近づくころ、宿の女性が現れて朝食で出た炊き込みご飯で手早くおにぎりを結び、「移動のお車の中で召し上がってください」と持たせてくれた。何と気が利くサービスだろう。宿の中には、朝食が終わっていないにもかかわらず端の方から片付け始めるケースもあり、急かされているようで食べた気がしない。

そしてもう一例。これも信州で目にした光景だ。昼食時、そば店に入った。午後1時を少し回り、お客も減り始めていた。来店した男性3人組が店員に「タラの芽を摘んできたので、天ぷらに揚げてほしい」と頼んだ。天ぷらそばの代金を払うからと言い添えた。

アルバイトらしい若者は、そういうことはできませんと断ったところ、店主が調理場から出てきて、「喜んで天ぷらにしますよ。お代はもりそば代で結構です」と、タラの芽を持って奥に引っ込んだ。

素敵な話で、こういう宿やそば店には、また訪れたくなる。確かに食材の持ち込みは食品衛生上の問題が生じるかもしれない。しかし、強く拒否すれば、男性客たちは去ってしまうこともあっただろう。店主の臨機応変な態度に、アルバイトの男性もお客さま商売とは何かを学んだだろう。

いずれも接客マニュアルに従ってのことだ。マニュアル通りに行動するのは大切だが、それだけではない。しばしばやゆされたハンバーガーチェーンの例を紹介しよう。「店内でお召し上がりですか？　それともお持ち帰りですか？」。友人らとパーティーでもするのだろう、ハンバーガーセット5人分を買いに1人で来た客にこの質問をするのはばかげているからだ。アルバイト店員が多く、マニュアル化が必要とは分かるのだが。

一方、お客さまあっての商売とはいえ、困った客、はた迷惑な客がいるのも事実だ。都内の中クラスの個室和食店で、昼どきに会食をした。隣室ではアルコールが入り、盛り上がっていた。送別会らしい。歓声と拍手で、こちらの会話も妨げられるくらいだ。店の女性に注意してくれるよう頼んだが、何とも煮え切らない。二度ほど促し、最後は店長を呼んで対処をお願いしたものの、結局らちが明かなかった。

第一義的には、大声で盛り上がるお客の方に非があるのは当然だが、それを注意できない店側もおかしい。お客さま商売のつらいところだろう。

北関東のある老舗旅館の女将がこんなことを打ち明けた。「お金を払っているのだからと威張りくさるお客さまもいらっしゃいます。『また、おいでください』とごあいさつしますが…」。

多くの宿で、お客が到着すると手荷物を持ってくれる。宿に着いたある女性に、お荷物お持ちしますと女将が手を差し伸べたところ、大きな旅行かばんのほかに、小さなポーチを渡された。そしてひと言、「このポーチ、高いんだから、大事に扱ってよ。落としたりしないで」。「お客さまの大切なお荷物を丁寧に扱うことは長年の女将業で心得ておりますよ！」と言い返してやりたかったそうだ。こう話した女将の悔しそうな顔は忘れられない。

（日本旅行作家協会理事、元旅行読売出版社社長）

＝月1回掲載

特集

観光業界のSDGs推進を支援

新商品　紹介

SDGsに対する認識の高まりとともに、企業でのSDGs推進の取り組みも進んでいる。そこで今回の商品情報では「観光業界のSDGs推進を支援する商品」に注目した。また、実際にSDGs推進に取り組んでいる旅館・ホテル3軒の事例を紹介する。

除菌洗浄剤

9Revolver

HACCP認証の環境配慮型

9Revolver（ナインリボルバー、福岡市）は、HACCP認証の環境配慮型の除菌洗浄剤「レノグリーン」を活用した衛生管理の実践を呼び掛けている。

レノグリーンは元来、医療機関向けに開発された。主に院内清掃業務をはじめ、衛生器具、手術器具の漬け込み洗浄などに使用されている。

旅館・ホテルでは、ホール、厨房（作業台や機器類、床洗浄）、客室、大浴場やトイレの日常清掃での活用が見込める。

特に、細菌、カビ、グリストラップといった油脂系の汚れ落としに効果を発揮する。「洗剤・洗浄剤の企画および基準のJISK3370指標によると、従来製品の2倍の洗浄力を誇り、洗浄と除菌を同時に行う」と同社。

そのため、多種類の洗剤をレノグリーン1本にすることができる。

成分には、毒性が高いと言われる界面活性剤のABS、LAS、AOSや石油系のものは不使用。代わりに、天然脂肪酸（非イオン系界面活性剤）を使用したことで、「人体に影響がなく、手荒れの懸念を払拭した」（同社）。

また、国有林の間伐材38種類の植物抽出液を配合したことで、CO^{2}の削減につながるほか、PRTR法（化学物質把握管理促進法）に該当する成分を用いておらず、生分解性と洗浄力に優れ、自然環境の保護を実現。

併せて、新型コロナウイルスの不活性化試験では、「開始直後から96％の不活化を実現（10分後には99・99％不活化）したため、接触感染予防としても期待できる」と同社。

製品ラインアップは、レノグリーン分包（5㌘×12袋）に専用スプレーヤー（500㍉㍑用）をセットにしたものがメインで、それぞれを単品でも購入できるほか、内容量1㌔㌘のボトルタイプも取り扱う。

レノグリーン

旅館・ホテルでの取り組み事例

若年世代を育成

ホテル一井

市川氏による研修

ホテル一井（群馬県・草津温泉）は、「旅館をスタッフの自己実現の場へ」「スタッフを大切に育て、おもてなしのスペシャリストを養成したい」との思いのもと、人財（人材）育成、とりわけ若年世代の育成に力を注いでいる。自館の人財育成から草津町全体の発展までを見据える同館女将の市川薫氏（草津温泉観光協会会長）に話を聞いた。

SDGsでは「働きがいも経済成長も」のゴールが設定されている。市川氏はコロナ禍で観光業界、特に宿泊業界への就職を希望する若者の減少を憂慮し、「観光業界への就職を希望する若者の意思を無駄にしてはいけない」との思いから、毎年、13～20人ほどの新卒採用を継続している。高校卒、専門学校卒、大学卒とさまざまな新入社員を採用し、観光業界で通用する人財へと育成することに注力する。

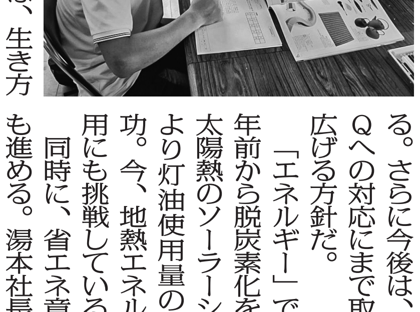
「敬語などの言葉遣い、上座、下座も分からない新入社員も多い」とのことだが、市川氏も指導に当たる勉強会や接客研修を経ると、各社員が高い意識を持って業務に尽力するようになる。「観光業界で働くことに誇りを」という市川氏の思いが伝わり、若年世代のスタッフは自信を持って日々顧客に対応している。

「各自が働きがいを感じながら自身の意識、スキルを高めることがお客さまへのサービスの向上、ひいては旅館全体の質の上昇につながる」と市川氏。

市川氏は「人が観光を作り、観光が町を作る」と話す。草津町にとって観光は基幹産業であり、住民の多くも観光の重要性を理解しているからこそ、「『町民にとって暮らしやすい』『お客さまに訪れてもらいやすい』の両観点から町づくりを進めていく」ことの必要性を説く。施設スタッフ、地元住民、来訪者が一体となって草津のまちづくりは行われている。ホテル一井の、SDGsと町全体の活性化に関する取り組みは、いつも「人」から始まる。

生き方教育の研修

春蘭の宿さかえや


フリースクールの様子

長野県・渋温泉で1927年に創業し、百年近い歴史を持つ、春蘭の宿さかえや。客室数26室のこぢんまりとした宿だ。特に接客と料理を売りとしており、宿泊サイトでの口コミ評価も高い。

その同館は、SDGsにつながる活動として、主に①教育②ジェンダー③エネルギー④経済成長と雇用―の四つの取り組みを進めている。

「教育」は、人によるサービスが要と考え、最も力を入れている。一つには、生き方教育として、「CL（コンストラクティブ・リビング＝建設的な生き方）研修」を実施。これは、やる気がなくても行動をコントロールできる「自力」と人から応援される「他力」を身に付ける研修だ。

「マネージメントゲーム研修」は、意思決定の際の自分のくせを把握する訓練。経営者や幹部だけでなく、全社員を対象に年に3回行っている。

さらに研修のレベルアップを目指し、「『CL』と『おもてなし』を融合させた、さかえや独自の教育システムを構築したい」と湯本晴彦社長。

同館の「ジェンダー」は、どんな人でも輝けるようにする取り組み。その一環として、女性の活躍を推進。現在、女性幹部登用率は50％を超える。さらに今後は、LGBTQへの対応にまで取り組みを広げる方針だ。

「エネルギー」では、十数年前から脱炭素化を目指し、太陽熱のソーラーシステムにより灯油使用量の半減に成功。今、地熱エネルギーの活用にも挑戦している。

同時に、省エネ意識の改革も進める。湯本社長は「物を大事に最後まで使い切る。『物の性を尽くす』という理念を社員に浸透させたい。それがエネルギー問題の解決に通じる」と意図を語る。

「経済成長と雇用」としては、不登校や引きこもりの若者を受け入れる「フリースクール」を館内で運営し、彼らが就労できるように支援する。自社でも雇用をして活躍させている。

生ごみを堆肥化

戸田家

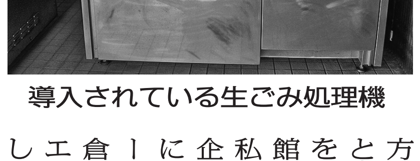
戸田家（三重県・鳥羽温泉郷）は、SDGsが世界的な関心事となっていない30年ほど前から環境に配慮した取り組みを推進し、2019年にはエコマークの表彰制度「エコマークアワード」で「エコ・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。同館の環境保全に関する取り組みを取締役業務支配人の宍倉秀明氏に聞いた。

1992年、同館は排出される生ごみ処理に着目し、環境保全に関する取り組みを本格的に開始した。宍倉氏は「当時は世間のエコへの関心が低く、スタッフに館内ごみの分別を習得してもらうのにも3カ月ほどかかった」と苦労を振り返る。その後も、生ごみを堆肥化して育てた野菜を料理で提供するなど、環境とおもてなしの両立を図り続けた。

さらに取り組みを推進し、調理時に廃棄される残渣（ざんさ）を養殖用に飼料化する試みも行った。「なかなか担当の省庁から許可が降りなかった」と宍倉氏が振り返る残渣の飼料化は、自社のいけす内で自館に提供する魚に限って与えるという条件下で認められた。この飼料で育った真ダイが館内で顧客に消費され、残渣がまた飼料になる〝海産物のリサイクル〟は、宿泊業界としてはかなり画期的だ。

館内から廃棄された古紙の再利用にも着目。製紙会社と連携し、古紙をトイレットペーパーへとリサイクル利用する流れを構築した。

これらの取り組みはスタッフの環境保全への意識を高め、顧客からは歓迎する声も増えた。「かつては『そんなことをして何になるのか』と言われたが、現在では多くの方に評価してもらえている」と宍倉氏。旅館がエコマークを取得した事例は希少で、同館の先進的な取り組みには公私の別を問わず多くの組織や企業、人が注目し、今年4月には「三重県SDGs推進パートナー」に登録された。宍倉氏は「引き続きSDGsやエコに関する取り組みに尽力したい」との思いを語った。


導入されている生ごみ処理機

節水 × SDGs
経費削減（水道・燃料代）・CO2 削減・社会貢献プロジェクト

省エネ大賞受賞 節水装置 ecotouch
導入実績 8,600施設
お客様満足度 98.5％
レンタルリピート率 97.5％

① 持続可能な節水対策
② 初動モニタリング効果検証
③ WaiWai サポートソリューション
④ 節水装置再生システム
⑤ 節水CO2排出削減証明書
⑥ CO2削減 社会貢献プロジェクト

サステナブル節水システム
ASUWO

（一社）国連 P.R.I.D.E 日本 主催　SDGs アワード受賞
（一社）日本 SDGs 協会　事業認定会員企業

株式会社アースアンドウォーター
Earth&Water
本社　〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-18-3 SDビル3F　電話：03-5298-1355
HP　SDGs ページ

環境型除菌洗浄剤
レノグリーン
RENO GREEN

汚れに対して
パワフルな洗浄力と脱脂力を発揮
泡を抑えて節剤・節水

接触感染予防

4つのPOWER
防カビ　洗浄　除菌　脱臭

世界一安全で安心な洗剤

客室・大浴場や厨房機器等の
しつこい油汚れ、床壁面の清掃など
さまざまな用途に使用可能
※多種類の洗浄剤を１本に絞ることが可能

9R 9 Revolver
株式会社 ナインリボルバー
〒813-0011
福岡県福岡市東区香椎６丁目2-16
TEL:092-692-2533　FAX:092-692-2555
Mail:info@9rv.co.jp　URL:http://www.9rv.co.jp

特集

観光業界のＳＤＧｓ推進を支援する商品

節水装置

アースアンドウォーター

節水装置の製造、販売などを展開するアースアンドウォーター（東京都千代田区）の「サステナブル節水システム　ＡＳＵＷＯ（アスウォ）」がＳＤＧｓ対策として全国で導入が進んでいる。

同システムの節水装置「エコタッチ」は、業界で唯一「省エネ大賞」を受賞し、宿泊施設をはじめ、温浴施設、スポーツクラブ、病院、飲食店など、８６０施設以上に導入されている。

導入には、イニシャルコスト不要のレンタルでの取り組みも可能で、多くの施設に選ばれている。

しかし、節水といっても、水光熱費の削減だけではなく、①毎月の水道検針を基に水光熱費の削減状況を見える化した「節水エシカルレポート」②節水で削減したＣＯ^{2}削減量を第三者機関で認証された「ＣＯ^{2}排出削減活動証明書」の発行で証明③節水で削減したＣＯ^{2}の量を独自の計算方法でポイント換算し、それを現金化して継続的に慈善団体へ寄付される「社会貢献プロジェクト」の仕組みがある。

さらには、④節水効果を維持していくために、定期的にメンテナンスが実施される。

「省エネ大賞」を受賞

シャワー用節水装置（左）と節水シャワーヘッド

また、その効果を維持継続していく体制も整っているため、ＡＳＵＷＯを導入することで、「持続的に経費削減をしながらＳＤＧｓに取り組めることが高く評価されている」と同社。

併せて、日本ＳＤＧｓ協会からの事業認定や、国際ＰＲＩＤＥ日本が主催する「ＳＤＧｓアワード２０２２」を受賞した。

同社では現在、宿泊施設向けの特別プランの創設や、コスト削減を見える化する無料節水診断を全国で実施している。「気軽に問い合わせてもらえれば」と話す。

紙ストローなど

三菱製紙

紙ストロー（左）とピュアリーフエコ

１８９８年創業の老舗製紙メーカーの三菱製紙（東京都墨田区）は、オフセット印刷（版を使用した印刷方法）などに対応する用紙や、感圧、感熱、インクジェット含め大半の記録方式に対応するメディアの生産販売を主軸に展開する。

近年では、不織布、フィルターなどの機能材事業への転換を図るほか、ＦＳＣ森林認証紙や脱プラ、廃プラに寄与する製品を取り扱い、ＳＤＧｓの達成に貢献できるよう努めている。

気候変動への悪影響を抑制

その一つが、木材から生成されるパルプが主成分のエコな「紙ストロー」。パルプの活用により、「プラスチックの素となる石油原料の使用量を削減。気候変動への悪影響を抑制する」と同社。

外装紙は木の色に似た茶色の未晒（みさらし）クラフト紙を採用し、ナチュラルカラーを実現。「旅館・ホテルになじみやすい紙独自の風合いが癒やしの空間を演出すると同時に、環境活動への取り組みを宿泊客にアピールしてもらえれば」と話す。

同社が国内で販売する商品は、欧州、米国、韓国などの飲食店、カフェでの採用実績もある。

サイズは口径６×長さ２１０ミリ。衛生的な個包装タイプで、1箱2千本が基本。

同社では、さらに、日本で初めてポンプ式紙容器を採用したアルコール除菌液「ピュアリーフエコ」を昨年10月に発売。従来のプラスチック容器と比較し、石油資源を約55％削減することが特徴で、植物性由来のエタノールとグリセリンを使用した除菌液とした。

パッケージのデザインは自然をテーマに柔らかな印象で、宿泊施設のロビーや客室に置いても景観を損なうことはない。

また、捨てる際は、燃えるごみとして廃棄可能。

製品ラインアップは、プッシュボトル６００ミリリットルと、つけかえボトル６００ミリリットルを取りそろえた。

アメニティシリーズ

ＪＴＢ商事

ＪＴＢ商事は、ＣＯ^{2}排出とプラスチック使用量を削減するアメニティシリーズ「ｍｕｇｉｃａｒａ」（むぎから）を提供している。ハブラシやヘアブラシ、レザー、コームにはムギ由来の植物資源を含有している。

昔から日本人になじみのわらじ、縄などを作る麦わら（麦の穂を落とした後の茎）を原料とするアメニティ。ムギの廃棄部分からなる再生可能な生物資源を含有することにより、従来品よりもプラスチックを29％削減した。ｍｕｇｉｃａｒａは、「ムギから始まる環境配慮」という同社の志念を含ませた造語。

包装は日本製のクラフト調の紙を採用し、従来品よりもプラスチックを89％削減した。印刷には有機溶剤の含有量が限りなくゼロに近い水性インキを使用しており、環境にやさしい。

石油を原料として作られた「プラスチック」は、石油資源を消費し、焼却する際に二酸化炭素を発生させてしまう。ｍｕｇｉｃａｒａで使用されているムギ由来のバイオマスは、ポリプロピレンの使用量を減らし、燃焼時にＣＯ^{2}を増やさないカーボンニュートラルで、地球温暖化防止に有効とされている。

ムギ由来の植物資源を含有

また、シリーズのシャワーキャップは、コーンスターチ含有プラスチックを素材としており、同じく環境配慮型商品となっている。

同社では、宿泊施設からの要望が多いアメニティバイキング用の什器も提案。全方面から商品を選べるラウンド型や、収納スペースを備えた壁面用などを用意し、すべて特注で対応する。

この夏にＳＤＧｓの取り組みにかなう専用カタログの発行を予定している。カーボンニュートラル、環境にやさしい消耗品、装備品など宿泊施設で利用できる商品を厳選予定。

ｍｕｇｉｃａｒａ（左）とアメニティバイキング用什器

環境に優しい
ストロー・パッケージを選ぶ時代へ

FSC®で認可された
エコロジーな紙ストロー
FSC www.fsc.org FSC® C021528 責任ある森林管理のマーク
脱プラ　減プラ
500本×4袋　2000本入　FSC® C021528
- 衛生的な個包装タイプ
- 手ざわり、風合い、質感が旅館・ホテルに馴染むナチュラルカラー

環境面・品質面で安心してご利用いただけます
- 日本・欧州・米国・南米・韓国などで実績のある海外メーカー品
- 食品衛生法基準、日本製紙連合会自主基準（重金属試験）を国内分析機関で確認

日本初のポンプ式紙容器
×
アルコール除菌液
pure Leaf
ピュアリーフ エコ
JPC
（ジャパンパッケージングコンペティション）
2022 一般雑貨部門賞受賞
- プラスチック容器と比べ、石油資源の約 55％を削減
- 手指に優しいすっきりタイプ

使う責任　作る責任
ひらいてたたんで捨てられる
プッシュボトル 600ml
つけかえボトル 600ml

製品の詳細はこちら
紙ストロー　ピュアリーフエコ

MITSUBISHI PAPER MILLS LIMITED
三菱製紙株式会社
〒130-0026 東京都墨田区両国２丁目 10-14　両国シティコア
機能商品事業部　事業開発部　マーケティンググループ
TEL：03-5600-1473　FAX：03-5600-1419
Mail：kinou_new-item@mpm.co.jp

環境配慮・エコ推進のお手伝い　株式会社 JTB商事

エコと言っても取り組み方はさまざま！
環境配慮の観点から新素材アイテムも続々と登場しています。

before
インバスアメニティ（ミニボトル）
ペットボトル　プラスチック製 容器、ストロー
プラスチック製 カードキー
個包装のプラスチック製 アメニティ、カトラリー
ポリプロピレン製のランドリーバッグ

after
詰め替え用ディスペンサー
紙製ボトル　紙製の容器、生分解ストロー
木製など再生可能な素材のカードキー
麦・竹由来などプラスチックの使用を削減したアメニティ　包材は、紙製やバイオマス素材へ。
袋なしスリッパ　コットン素材のランドリーバッグ

空間づくりのサポートカタログ［ワンストップエクスプレス］
One-stop Express
こちらの右記QRコードまたはURLよりアクセスいただくと
各種、デジタルカタログがご覧いただけます。
WEBで詳しく
https://worldsp.meclib.jp/library/release/book/list?search%5Bhigh_category%5D=5
巻頭では、環境へ配慮した製品、アメニティをPICKUP！
［装備品版2022］　［消耗品（アメニティ）版vol.4］

環境負荷を軽減したサスティナブル（持続可能）な、
宿泊施設運営を目指しJTB商事がご提案いたします。

資料請求・お問い合わせは、JTB商事 営業企画部 企画課まで Tel.03-6832-4710
E-mail:sales@jtbtrading.jp　HP: https://www.jtbtrading.co.jp/